

行財政改革実施計画・行動計画票

No.	74	[平成18年4月20日提出]			
基本方針	組織機構の見直し	担当課名	水産課		
重点項目	行政関連施設の統廃合				
取組項目	類似施設(アワビの種苗育成)の施設の管理の一元化				
経過・現状 (H17.4.1現在)	施設の管理運営の一元化について検討・協議。 上五島町栽培漁業推進協議会による審議。 新上五島町水産業振興協議会による審議。 経済建設常任委員会による審議。 本庁、支所および施設職員による打ち合わせ会議等。				
行 動 概 要	目標	施設の管理運営の一元化を図り有効活用・効率化を目指す。 (目標年次) 平成19年度			
	期待される効果	施設運営の一元化により、各漁協に対する種苗の安定供給。 種苗の受渡が可能になることにより、種苗の増産が見込まれる。 将来的には、藻類等の増殖場にも考え目的に応じた施設の運営を行うことにより、ランニングコスト縮小になる。			
	必要性・問題点	<必要性> 新上五島町総合計画に栽培漁業・資源管理型漁業の推進ということでもあるように町の水産業の方向性には欠かすことのない施設である。 <問題点> 営利目的の施設ではないが、できるだけランニングコスト削減に努めながら勝つ安価で漁協等に種なえを供給できるようにする。			
	対象	新上五島町アワビ中間育成施設・新上五島町栽培漁業センター			
	手段	年度	実施内容・予定時期	効果額合計(0千円)	
	17年度 (実績)	上五島町栽培漁業推進協議会による審議。 新上五島町水産業振興協議会による審議。 経済建設常任委員会による審議。 本庁、支所および施設職員による打ち合わせ会議等。		目標 数値	アワビ種苗・育成18万個 カサゴ種苗育成 2万個
	18年度	平成18年4月1日より管理運営を一元化(暫定措置)。 上五島町漁協、飯ノ瀬戸漁協、有川町漁協および新上五島町による推進協議会を設置。(会長荒木助役)当該協議会に管理運営委託を行い運営実施。併せて、19年度以降の施設のあり方について検討・協議を継続する。		効果	歳入(千円) 歳出(千円)
	19年度	平成19年4月1日より、新たな組織・体制による運営。		目標 数値	アワビ種苗・育成25万個 カサゴ種苗育成 3万個
	20年度	同上		効果	歳入(千円) 歳出(千円)
	21年度	同上		目標 数値	アワビ種苗・育成25万個 カサゴ種苗育成 5万個
21年度			効果	歳入(千円) 歳出(千円)	
関係例規等	名称			改正時期	